

秋口の呼吸器病対策

千葉県・なのはなベテリナリーサービス 榎戸利恵

はじめに

秋は、呼吸器病の発生が増える季節です。冬に向けて気温が毎日下がりがつづけ、また、日較差も急激に大きくなります。その影響で、分娩舎では哺乳豚の下痢が増加し、離乳舎ではくしゃみやみがかえってきたり、子豚の毛が伸びてきます。さらに、肥育舎では咳や肺炎の発生が増えます。

このような傾向は開放豚舎やモニター管理の農場で多く認められます。これらの影響は、夜と昼の温度がどのくらい違うか、また、季節の移り変わりの管理を意識することで、ある程度は防げることだと思えます。秋から冬になるときは、人間が寒さを感じるので対応が間に合うのですが、秋は人間にとって心地良い温度になるので、油断しがちです。

本稿では、筆者が昨年経験した事例を交え、秋口に問題が起ころがちな、開放豚舎の農場のことを中心に述べていこうと思います。

秋口に起るインフルエンザ

九月から十一月にかけて、急に温度は下がります(図1)。九月の中旬から十一月にかけて、気温は一〇℃以上も下がって、風向きは、八月の南風から、十一月にはほぼ北東の強い風に変化します。

秋口の豚へのストレス要因

群飼環境下での離乳子豚の下限臨界温度は約一五℃、肉豚で一二℃です。ここでいう臨界温度とは、豚が同居豚とくっつきながら、快適に暮らせる温度帯の上限值と下限値のことです(図

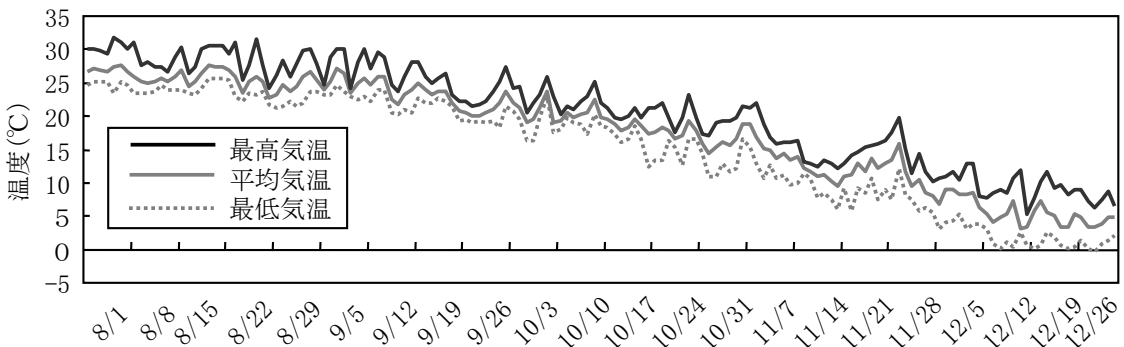


図1 千葉県A地点の気温の推移

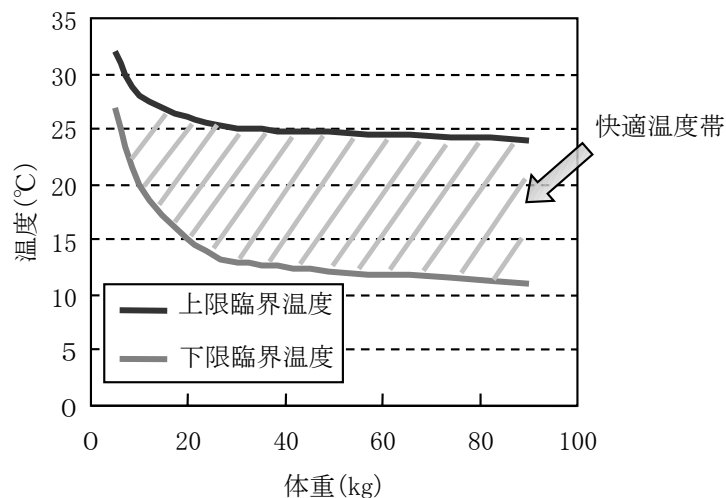


図2 豚の臨界温度と快適温度帯

2) 加減温度を下回ると、豚の体内で、体温を確保するための熱産生がはじまります。この温度は体重や飼料の接種状況、日齢、豚舎構造や床のタイプにも影響を受けます。下限温度を1°C下回ると、肥育豚で一日増体量が約一二g減少します。また、冷風を受けると、体感温度は実際の温度よりもさらに低くなり

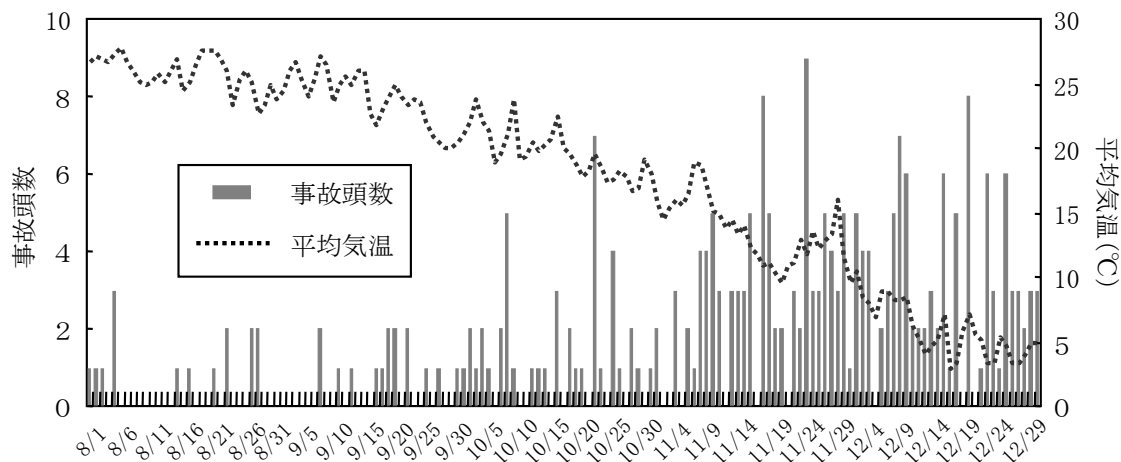


図3 A農場 (PRRS陽性農場) 離乳舎事故数と平均気温

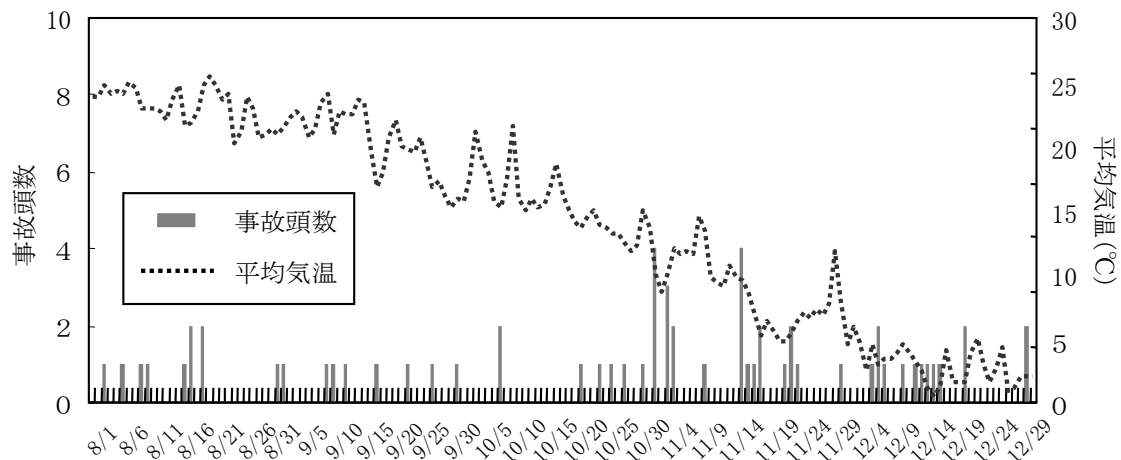


図4 B農場 (PRRS陰性農場) 離乳舎事故数と平均気温

表1 発生しやすい疾病

農場の特徴	起こりがちな病気
PRRS陽性	A P P、パストツレラ肺炎
PRRS陰性	連鎖球菌症、下痢

異なるので、データから理解できることには限界がありませんが、PRRS陽性農場では、秋口から、急に事故が増えているのが分かります。

ここで参考事例として、PRRS陽性農場と陰性農場での事故数の推移を示します(図3、4)。A農場はPRRS陽性、B農場はPRRS陰性農場です。一戸ずつ、そして、立地条件も

PRRS陽性農場と陰性農場(離乳舎)

ます。秋には平均気温がこの温度と交差します。つまり、子豚にとって寒いと感じる時期がやってきたのです。

ます。事故の主原因は肺炎でした。

図3、4から、PRRS陽性農場の方が陰性農場よりも温度感作を受けやすい傾向が顕著であるということがお分かりいただけると思います。

秋口に起こる疾病

(1)肺炎

肺炎は離乳舎(肥育舎)で起こりやすくなります。PRRS陽性農場では、PRRSやサーコウイルスとの複合感染症として、A P Pやパストツレラ肺炎との混合感染が多い結果となりました。(PRRS陰性農場では、主症状として連鎖球菌症が見られました、表1)。

(2)下痢

下痢は分娩舎で、モニター管の失宜があったときに起こり



写真1 分娩舎のモニター(カバーが必要)

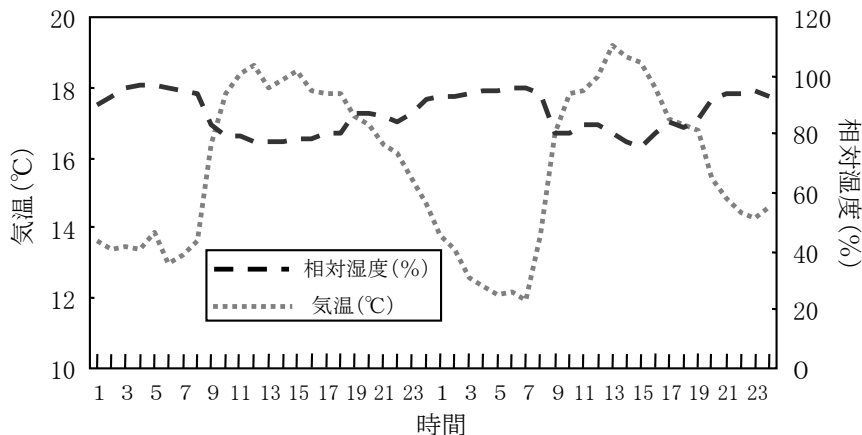


図5 1日の気温と湿度の変化 (2005年11月3～4日)

やすくなります。モニターから朝方吹き込む冷風が原因となります。モニターの近くの腹の子豚を見てください(特に、モニターファンの設定が自動の場合)

合は設定温度に注意が必要です。例えば、離乳舎で二四℃度設定にしてあるとき、二四℃以下になるとモニターファンは停止し、温度差が大きくなる朝方になると、冷気がモニターを通過して落ちてきます。風が直接子豚に当たらないように風除けをする必要があります。モニターからは、大きいときで昼間より約一〇℃も低い冷風が子豚に向かつて吹き込んでくるのです。管理が怠りがちになってしまいうのは、人がいる昼間は外気温が高く、モニターファンが作動して、室内から強制排気を行っている良好な状態のためについ安心してしまい、夜のことまで注意が向けられないからです。冬場であれば、

昼間でもモニターを開

けると冷気が落ちてくるので分かりますが、秋の昼夜の温度差は曲者です。注意してください(写真1)。

秋口に気をつけること

まず、午前六時ごろの温度に注意してください！

一日の温度の中で、一番低い温度になるのが朝方です。図5に、ある二日間の温度の変化を示しましたが、午前六時ごろ、前日の昼間の約一〇℃ほど低い温度になると考えることができません。ですから、一日の作業が終わるとき、翌日の朝方の温度を考慮してカーテンやモニターの管理・設定をする必要があります。

対策

便利な時代になりました(イ

ンターネットの利用です)！
例えば、Yahoo!の天気サイトでは、全国の各地点での天気、温度、湿度、風向き、風速の予報が三時間間隔で発表されています。翌日の情報まで出ています。毎朝もしくは毎朝、夕方チェックして、カーテンやモニターの管理の参考にできます。そして毎日の観察は何より大切です。

この時期は暑い夏が終わって人にとっては過ごしやすい季節です。昨年お邪魔した農場では、人間の都合で、豚も同じく過ごしやすくなっていると思いがちであるケースが多かったように思います。

早速、農場の子豚の様子をよく観察してみましよう。毛が伸びたり、咳をしたり、腹式呼吸をはじめていませんか？
豚の気持ちになつて観察することが大切です。

